農林水産省登録　第16758号

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

農業用殺虫剤

トレボン® 乳剤

有効成分：エトフェンプロックス[PRTR・1種64]…20.0%

殺虫剤分類 3A

稲WCS使用可能

農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に掲載された農薬です。

ラベルの記載以外には使用しないでください。

栽培する作物、発生する害虫に合わせてご使用ください。

きゅうり
コナジラミ類
アブラムシ類

ピーマン
アブラムシ類

ばれいしょ

レタス

オクラ
アブラムシ類
カメムシ類

トマト
コナジラミ類

すいか
アブラムシ類
コナジラミ類
ハスモンヨトウ
ヨトウムシ

ふき
コナジラミ類
フキノメイガ
ヨトウムシ

なす
コナジラミ類
アブラムシ類

キャベツ

はくさい
アオムシ、
コナガ、
ヨトウムシ、
アブラムシ類

だいこん

稲
コブノメイガ、
ツマグロヨコバイ
ウンカ類、
イネドロオイムシ、
イナゴ類
カメムシ類
イネミズゾウムシ

さやいんげん
ワタアブラムシ
ウラナミシジミ
マメノメイガ

えだまめ
マメシンクイガ
シロイチモジマダラメイガ
ダイズサヤタマバエ
カメムシ類
フタスジヒメハムシ
ウコンノメイガ
ツメクサガ
ハスモンヨトウ

メロン
アブラムシ類
コナジラミ類

しょうが
葉しょうが
ハスモンヨトウ

さといも
さといも(葉柄)

実えんどう
さやえんどう
シロイチモジヨトウ
ヨトウムシ
ウラナミシジミ

ねぎ
シロイチモジヨトウ

未成熟ささげ
アブラムシ類

かんきつ
コアオハナムグリ
ケシキスイ類
ミカンハモグリガ
チャノキイロアザミウマ

モロヘイヤ
アザミウマ類

せり
うど
アブラムシ類

豆類(種実)
アズキノメイガ
マメシンクイガ、アブラムシ類
シロイチモジマダラメイガ
ダイズサヤタマバエ、カメムシ類
フタスジヒメハムシ
ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ

あしたば

だいず
ウコンノメイガ
ツメクサガ

あずき
ノメイガ類

ゆり

とうもろこし
アワノメイガ
アワヨトウ

かんしょ
ナカジロシタバ
アブラムシ類
ハスモンヨトウ

やまのいも
やまのいも(むかご)
アブラムシ類
ヤマノイモコガ
ハスモンヨトウ

みずいも
オキナワイナゴモドキ

樹木類
ケムシ類
シャクトリムシ類
オビカレハ

つつじ類
ツツジグンバイ

アブラムシ類
きく
カーネーション

小麦
ヒメトビウンカ
アブラムシ類

茶
チャノホソガ、
チャノミドリヒメヨコバイ
チャノキイロアザミウマ

にがうり
アブラムシ類、ウリノメイガ
カメムシ類、コナジラミ類
ヨトウムシ類

かぼちゃ
コナジラミ類
ウリハムシ

休耕田
カメムシ類

Très bon
とても 良い
名は剤を表す
トレボンの語源はフランス語の「Très bon」です。

適用拡大!! とうき：キアゲハ、あわ：アワノメイガに適用拡大

トレボン®乳剤

農林水産省登録 第16758号　人畜毒性:普通物 1)　1)「毒性および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

●適用害虫名と使用方法

(令和3年5月26日付拡大登録内容含む)

作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法
稲	コブノメイガ	1000	60～150ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布
	ツマグロヨコバイ、ウンカ類、イネドロオイムシ、イナゴ類	1000～2000				
	カメムシ類、イネミズゾウムシ	2000				
	ウンカ類	300～600	25ℓ			
	ツマグロヨコバイ、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ	300				
	カメムシ類	600				
きび	アカスジカスミカメ	1000	100～300ℓ			
あわ	アワノメイガ、アワヨトウ					
キャベツ	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類	1000～2000		収穫3日前まで		
はくさい				収穫7日前まで		
だいこん				収穫21日前まで		
ブロッコリー	アオムシ			収穫前日まで		
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1000		収穫21日前まで	2回以内	
レタス	アブラムシ類			収穫14日前まで	3回以内	
すいか	アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ			収穫3日前まで		
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類				4回以内	
なす	コナジラミ類			収穫前日まで	3回以内	
	アブラムシ類	1000～2000				
ピーマン		1000				
オクラ	アブラムシ類、カメムシ類					
きゅうり	コナジラミ類、アブラムシ類					
にがうり	アブラムシ類、ウリノメイガ、カメムシ類、コナジラミ類、ヨトウムシ類					
トマト	コナジラミ類				2回以内	
さやえんどう 実えんどう	シロイチモジヨトウ、ヨトウムシ、ウラナミシジミ					
さやいんげん	ワタアブラムシ、ウラナミシジミ、マメノメイガ					
えだまめ	マメシンクイガ、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ウコンノメイガ、ツメクサガ			収穫14日前まで		
	ハスモンヨトウ	1000～2000				
未成熟ささげ	アブラムシ類	1000		収穫前日まで		
う　ど				根株養成期 但し、収穫45日前まで		
モロヘイヤ	アザミウマ類			収穫14日前まで	1回	
かんきつ	コアオハナムグリ、ケシキスイ類		200～700ℓ		3回以内	
	ミカンハモグリガ	1000～2000				
	チャノキイロアザミウマ	2000				
マンゴー		1000		収穫7日前まで		
小　麦	ヒメトビウンカ、アブラムシ類	2000	60～150ℓ	収穫14日前まで	2回以内	
とうもろこし	アワノメイガ、アワヨトウ	1000	100～300ℓ	収穫7日前まで	4回以内	
ばれいしょ	アブラムシ類			収穫7日前まで	3回以内	
かんしょ	ナカジロシタバ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ					
やまのいも やまのいも(むかご)	アブラムシ類、ヤマノイモコガ、ハスモンヨトウ			収穫14日前まで		
さといも	ハスモンヨトウ					
さといも(葉柄)				収穫7日前まで		
かぼちゃ	コナジラミ類、ウリハムシ			収穫前日まで		

作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10a当たり使用液量	使用時期	使用回数※1	使用方法
豆類(種実、ただし、だいず、あずきを除く)	マメシンクイガ、アブラムシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、アズキノメイガ	1000	100～300ℓ	収穫14日前まで	2回以内	散布
だいず	マメシンクイガ、アブラムシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、アズキノメイガ、ウコンノメイガ、ツメクサガ					
あずき	マメシンクイガ、アブラムシ類、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤタマバエ、カメムシ類、フタスジヒメハムシ、ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ、ノメイガ類					
しょうが	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで	3回以内	
葉しょうが						
ふき	コナジラミ類、フキノメイガ、ヨトウムシ			収穫14日前まで		
みつば	アブラムシ類			収穫21日前まで 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	2回以内	
食用ぎく		2000		収穫3日前まで		
せり(水耕栽培)※2		1000	100～150ℓ	収穫30日前まで		
せり(水田)						
みずいも(水田)	オキナワイナゴモドキ					
あしたば	アブラムシ類	2000	100～300ℓ	収穫14日前まで	3回以内	
てんさい	ヨトウムシ	1000～2000				
茶	チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ	2000	200～400ℓ	摘採21日前まで	2回以内	
たばこ	タバコガ、ヨトウムシ		25～180ℓ	——		
	アブラムシ類	1000～2000				
樹木類(つつじ類、ボインセチア、ソテツを除く)	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000	100～700ℓ	幼虫発生期	6回以内	
	オビカレハ	2000				
つつじ類	ツツジグンバイ			——		
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000		幼虫発生期		
	オビカレハ	2000				
ボインセチア	コナジラミ類	1000		——		
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000		幼虫発生期		
	オビカレハ	2000				
ソテツ	クロマダラソテツシジミ	2000～4000				
	ケムシ類、シャクトリムシ類	4000				
	オビカレハ	2000				
宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ	1000	100～300ℓ	——		
	ヨトウムシ	2000				
りんどう	ヒラズハナアザミウマ					
きく カーネーション	アブラムシ類			発生初期		
ゆり				——		
とうき 採種用とうき	キアゲハ	1000		幼虫発生期		
せんきゅう	ウリハムシモドキ			収穫14日前まで	3回以内	
ほうきぎ	ホウキギツツミノガ			収穫30日前まで	2回以内	
トルコギキョウ	ハスモンヨトウ			——	6回以内	
水田作物、畑作物(休耕田)※3	カメムシ類	2000	60～150ℓ		3回以内	

※1 本剤の使用回数および、エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数を示す。　※2 ガラス室等の施設　※3 ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

⚠ 使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300～600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
●本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
●水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
●きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけてください。
●採種用とうきに使用する場合は、根部及び葉を収穫せず、種子の収穫に限って使用してください。
●蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。　●散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別してください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、十分注意してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
●誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
●本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●使用の祭は農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。
●作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
●本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。保管:火気をさけ、直射日光が当らない低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。
皮膚などにかかった場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。　●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。
●防除日誌を記帳しましょう。

＊本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。＊本印刷物は2021年5月26日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

TRE1E01N

三井化学アグロ株式会社
東京都中央区日本橋一丁目19番1号 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ https://www.mitsui-agro.com/